

12. 生徒指導より

生徒心得（抜粋）

第一章 生活態度

この3年間は、自らさまざまな事柄に対し、積極的に挑戦し、自己を磨き、豊かな人間性と人権感覚にあふれた社会人として、地域・社会に貢献できる素養を育てる期間といえる。「勝ち負け」、「損得」などの意識にとらわれず、自分自身を真摯に見つめ、可能性を探り、自らを開発するための方策を学ばなければならない。

1. 人権感覚の発揚に努め、不用意な発言・行動により他人を傷つけないよう注意する。
2. 高校生という立場をよくわきまえ、発言・行動に対する責任を常に忘れず自己管理に努めること。
3. 生活習慣を健全に保ち、自ら健康管理に努めること。
4. 毎日を計画的に過ごせるよう、行事予定・諸連絡などを確認し、保護者との情報交換に努めること。

第四章 服装等

1. 特別な場合を除き、登校の際には必ず制服を着用する。指定外の服装での登校は禁止する。
2. 本校の制服（正装）は次のとおりであり、入学式・卒業式・始業式・終業式などの行事や、その他の正式な場面では、必ず正しく着用する。
男子：ブレザー（ブレザー着用期間は必ず着用）、スラックス、白シャツ（長袖・半袖）、ネクタイ
女子：ブレザー（ブレザー着用期間は必ず着用）、スカート（スラックス）、白ブラウス（長袖・半袖）、リボン
3. その他の制服（購入は自由）
 - 1) オプションシャツ（ピンク・ブルー）
普段の授業ではピンクあるいはブルーのシャツを、その日の気分などに合わせ、自由に着用することができる。
 - 2) ベスト・カーディガン：指定外のものの着用は禁止する。

4. 制服着用上の留意点

常に清潔に保ち、清楚な着こなしに留意する。また、着終わった制服は、すぐにハンガーにかけるなど、しわがついたり、折り目が取れたりしないよう心がけ、だらしない印象を与えないよう留意する。

男子

- ① ブレザー : 上着丈は、肩から足首までの半分が「基本」、切断するなどの変形は禁止する。また、ボタンをかける習慣を身に着ける。
- ② スラックス : ベルトは腰骨の上で止め、裾が床につかないようにする。
- ③ シャツ : ボタンはすべてかけ、正装時には必ずネクタイを着用する。

女子

- ① ブレザー : 上着丈は、肩から足首までの半分が「基本」、切断するなどの変形は禁止する。また、ボタンをかける習慣を身に着ける。
- ② スカート : スカート丈は、直立姿勢で膝蓋骨(膝皿)に接していること。裾を切断するなどの変形は一切認めない。
- ③ ブラウス : ボタンはすべてかけ、正装時には必ずリボンを着用する。

5. ブレザー着用期間

状況により変更する場合もあるが、12月1日から4月15日までの期間をブレザー着用期間とし、必ず着用する。その他の期間は天候その他の条件に合わせ各自で判断する。

6. 防寒着等

特に必要な場合、登下校時に限り、制服(ブレザー)の上に防寒着等の着用を認める。ただし、教室内では着用禁止。

また、防寒着は華美にならず高校生らしいものを着用する。

7. 履物

通学時には制服にふさわしい「靴」を着用する。(サンダル、スリッパなどの使用は禁止)

8. その他

- ① 頭髪の色染め、脱色、パーマ等は禁止する。
- ② 化粧・装身具(ピアス、指輪、ネックレス等)は禁止する。